

## 令和7年度「学校教育に関するアンケート」の結果について(報告)

浅春の候、保護者のみなさまには、日頃より江原南小学校教育へのご理解とご協力をいただき、厚くお礼も申し上げます。

さて、先日行いました「学校教育に関するアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。また、今年度初めて、「さくら連絡網」と「Googleフォーム」を用いたアンケートの形を取らせていただきました。たくさんの方にご回答いただけたことに対しまして、重ねて御礼申し上げます。

今回、その結果を保護者のみなさまにお知らせするとともに、学校といたしましても、来年度以降の教育活動への有効な示唆として受け止め、活用したいと考えております。

つきましては、お忙しい中とは存じますが、是非「学校教育に関するアンケート」の集計結果について、ご覧頂きますようお願い申し上げます。

アンケート項目		令和7年度 肯定的意見	令和6年度 肯定的意見
		そう思う+ だいたいそう思う	そう思う+ だいたいそう思う
子どもの様子について	子どもは、学校に行くことを楽しみにしている	95.1	87.9
	子どもは、授業が分かりやすく楽しいと感じている	77.8	83.9
	子どもは、規則正しい生活をしている	81.2	82.4
	子どもは、時と場合に応じた言葉づかいをしている	81.2	80.4
	子どもは、ルールを守り、安全に生活している	96.7	94.0
	各学年に応じた時間(低学年30分、中学年40分、高学年60分)家庭学習に取り組むなど、子どもにより学習習慣がついてきている。	65.6	62.8
	子どもには、学力が身についてきている。	74.6	77.9
	子どもは、読書習慣が身についてきている	52.5	57.3
	子どもには、体力が身についてきている。	82.8	79.9
学校の教育活動について	授業には、体験や活動を取り入れる等の工夫がされている	89.3	94.0
	交通・防災・防犯・病気の予防・食生活等の健康・安全意識を高めるための指導がされている	88.5	93.5
	人権学習を基盤とし、人権意識やいのちの安全を高めるための指導がされている	81.1	89.4
	決まりを守り、善悪の判断ができるなど、道徳性を高めるための指導がされている	89.4	90.5

アンケート項目		令和7年度 肯定的意見	令和6年度 肯定的意見
		そう思う+ だいたいそう思う	そう思う+ だいたいそう思う
家庭の 様子 について	家庭で、子どもと学校生活や学習について話をしている	89.3	92.0
	子どものよい面をみつけてほめている	87.7	86.8
	子どもには早ね・早おき・朝ごはん等の規則正しい生活に心がけさせている	86.9	93.9
	子どもは歩いて登校している。※R7年度新設	47.0	なし

## 令和7年度重点目標についての考察

重点目標Ⅰ 基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、「書く」「話す」能力を育てるとともに、見通しをもって意欲的に学習する児童を育てる。

- 児童アンケートにおける肯定的回答が70%を下回り、年々数値も下がってきている。自分の意見を表現するために、各学年様々な工夫(体験活動・ICT活用・ペア、グループ活動・身体表現等)を講じているが、児童自身に「自分の意見を伝えている」という意識がないように感じる。
- 6年生では、肯定的な意見が80%を超えている。これは、タブレットの扱い方やタイピングに慣れていることや、タブレットを活用した発表の機会を多教科に渡り、取り入れているためだと考える。
- 低学年では、「書くこと」「読むこと」「話すこと」の基本を徹底した指導を行い、基礎的・基本的な知識・技能が身につくにつれ、学年が上がるにつれ、その技能を使いこなせるような応用までに至っていない傾向にある。
- ◎指導要領を確認し、その学年で身につけなければならない知識・技能を系統立てて積み重ねていく。
- ◎体験活動を多く取り入れ、児童自身が自ら表現したいという意欲をもたせる。
- ◎授業の中で、型にはまった発表方法だけでなく、つぶやき(自由な発言)も受け止め、学習に生かしていく。
- ◎引き続き、「家庭学習の友」や「家庭学習充実週間」を活用し、家庭での学習習慣(家族で読書をする習慣も含む)を確立していけるよう呼びかける。

重点目標Ⅱ 「やさしくん・ともわちゃんの心」を大切にしながら、いじめを許さない、優しく強い心を育てる。

- 児童アンケートにおける肯定的回答が、年度当初に立てた90%の目標数値を超えている。
- 「いいことみつけたよカード」等をはじめとする日常的な取組や、人権ボランティア委員会を中心とした「なかよし集会」「やさしくん・ともわちゃんウィーク」等の取組によって、自分も友だちも大切にする意識が育まれている。
- 異学年への読み聞かせ活動等を通して、児童相互の結びつきが強まった。
- 学年便りでの人権に関する記事の掲載や人権の授業参観を通して、保護者への啓発を行えた。
- ◎人権ボランティア委員会を中心とした「いいことみつけたよカード」等の取組を継続させ、人権感覚を育てていく。
- ◎縦割り班活動を充実させ、児童相互のつながりを強める。
- ◎定期的なアンケート「きみのこと教えてシート」に加え、いつでも提出できる用紙を設置するなどして、問題の早期発見と解決につなげる。
- ◎学びや知識を生活に結びつけられるよう、児童の言動を丁寧に見取り声掛けを行う。
- ◎保護者と共に人権について学ぶ機会を通じて、連携しながら児童の人権意識を高めていく。

重点目標Ⅲ 年間を通して運動の機会を作り、自ら進んで運動に取り組み、安全に生活する態度を育てる。

- 各種検定や運動週間の見直しにより、児童アンケートにおける肯定的な回答が、85%の数値目標を達成している。また、昨年度よりも上昇している。
- 教員が休み時間に外に出て一緒に遊ぶことが継続され、休み時間に校舎外で遊ぶ児童が増えた。目標をもって運動をしたり、他学年とも積極的に交流しながら遊んだりしている姿も見られた。
- 休み時間に体育館を開放することにより、運動に参加する児童が増えた。
- 全学年での体力テストの実施や、アンケート・調査結果を家庭と共有したことで、保護者からの肯定的な回答も4%上昇した。しかし、数値目標は達成できなかった。
- ◎家庭での運動習慣をより身につけるため、今後も、アンケートや調査結果の共有を行い、連携、協力が得られるようにする。
- ◎今年度の検定や、運動週間の頻度を継続し、児童が目標を持って運動に取り組み、家庭でも運動の話題づくりにつながるよう働きかける。
- ◎生活習慣改善プロジェクトや毎月の保健だよりとも連携して、運動習慣や生活習慣の改善に努める。